

## 母なる川を守り、水資源をいたわる

1. 自治体名：中国黒竜江省北東アジア中学生環境体験団
2. 発表者名：中国黒竜江省ハルビン市松雷中学校2年，孫 志博
3. 活動期間：2011年7月
4. 活動場所：ハルビン市松花江
5. 活動参加人数：500人ぐらい
6. 活動名：母なる川を守り、水資源をいたわる
7. 発表要旨

### (1) 活動内容

母なる川を守り、より良い生活環境を作り、市民の環境保全意識を高めるために、今年の6・5世界環境の日に、私たちは、ハルビン市環境保護局が主催する、松花江沿岸の白色ゴミ（発泡スチロール製容器やビニール袋）を一掃することが目的とする「母なる川を守り、水資源をいたわる」という環境保全公益活動に参加しました。

ハルビン市の環境職員が私たちに循環利用可能な帽子、軍手とゴミ袋を配り、皆で松花江辺の発泡スチロール製容器やビニール袋を回収しました。大量な白色ゴミに埋め尽くされていた海岸が綺麗になりました。一つの学校が回収したゴミだけでトラック2台分の量がありました。





## (2) 活動の感想

松花江は私たちにとって母なる川です。水資源を守らないと人類は生存できなくなります。発泡スチロールやプラスチック類のゴミは自然界で分解されないもので、川に流されてしまったら、河川水がどんどん汚染されていきます。しかし、この発泡スチロール製容器やビニール袋類のゴミは私たち人間が捨てた物です。

そこで、母なる松花江を守るために、以下のような提案をしたいと思います。

- 1、 小、中学校の環境宣伝教育にもっと力を入れます。
- 2、 環境管理条例を制定し、日常の監督管理を強めます。
- 3、 マスメディアを通じて広く宣伝する。いろいろなイベントや活動によって環境保全知識を普及させる。
- 4、 日常生活から人々の行動を変えていく。環境に優しいライフスタイルに変えていく。
- 5、 お互いに監督し合い、水資源を破壊するような行為があったらただちに指摘して、関連部署に通報する。